

二学年通信 (第21号)

泉松陵高校第二学年
2016. 3. 18

総合学力テスト③(進研模試)の結果について

二学年主任 小野木 徹

1月22日(金)～23日(土)に本年度最後の模試が実施されました。結果に関しては、本日以降各クラスで配付されるはずですが、まずは、配付された結果をしっかりと確認しましょう。

1月に発行した学年通信(第18号)でも同様の話を書きましたが、今回の模試も得点が伸びなかった者が多かったと思います。しかし、結果に一喜一憂するのではなく、結果を真摯に受けとめ、そして確実に復習していくことが大切なのです。従って、まずはここに掲載した先生方からのアドバイスを目を通しておきましょう。

また、以前プリントを配布してお知らせしましたが、「進研模試2年1月 復習LIVE」のスタンダードコースが1/31(日)に、ハイレベルコースが2/20(土)に実施されました。Webを通じてLIVE授業に参加した者もいたかと思いますが、ただ、ハイレベルコースは難関大学を目指す者向けですので、中堅クラスの大学を目指す者はスタンダードコースで十分です。ちなみに、スタンダードコースに関しては、1/31(日)に実施された際の録画版が特設サイトで公開中です。時間を見つけて利用してみましょう。「進研模試デジタルサービス」から特設サイトに行くことができます。やり方は以下の通りです。

- ①「進研模試デジタルサービス」で検索。自分のIDとパスワードを使ってログインする。→ IDとパスワードを知りたい人は二学年主任まで!
- ②パスワードの変更が住んでいない場合は、新パスワードへの変更を。
- ③進研模試デジタルサービス(マナビジョンマイページ)TOPページにあるバナーをクリックして「特設サイト」へ
- ④サイト内の「スタンダードコース」を選び、更に視聴する科目を選ぶ。

なお、デジタルサービス全般に関する質問は、二学年主任が承ります。

★各教科担当の先生方からのアドバイス

①国語

【評論】難解である。授業を受けているだけでは厳しい。新川の添削指導を受けたり、塾に通ったり、通信添削を受けたりしている生徒でないと、おそらく歯が立たない。授業だけで満足していないで、授業以外にも読解力を身につけるための努力をしてほしい。そうとしか言いようがない。

大学に行くのに読解力が必要であることは言うまでもない。しかし、進学しない人でも一生日本語を使って物事を考えるのだから、読解力は必須である。読解力があつた方が、人生を豊かに生きることができる。読解力のない者は、他人に迷惑をかける。心して読解力を磨いてほしい。

【小説】文章は難しくないが、後半の内容が高校生にはつかみにくいかもしれない。「ここ」の授業でやったように、文脈をしっかり把握して想像力を豊かにして読み取るしかない。「自分ならこう思う」という感覚で小説を読んだら、おしまいである。問いとしては、問五、問六が難解である。

【古文】今回もリード文からしっかり読みましょう。作者は後深草院二条(女性)、その父(雅忠)は病気で床に伏している。そこに、作者をとて寵愛している後深草院が訪れる。「院」とは、天皇を退いた人(上皇)ですよね。ですから、身分は最高の人です。では、なぜ院ほどの最高の人がわざわざ雅忠を見舞いに来たのでしょうか。その答えは本文中、そして(注)にあります。本文6行目に「御幼くより馴れ仕うまつりしに(幼い時から雅忠が慣れ親しんで院に仕えてきた)」、(注4)に「作者(雅忠の娘)が院の子を懐妊している」とあります。院からすれば、雅忠は、幼い頃からの付き合いの長い忠臣であり、自分の子を身籠っている愛すべき女性の父親であるわけです。院と雅忠、二人の親密な関係がうかがえますよね。そして、雅忠からすれば、院は、自分の死後、娘の行く末を託したい人物であり、院に娘の後ろ盾になってほしいという気持ちを読み取ることができます。さあ、これらを踏まえて問四、問五、問六にもう一度チャレンジしてみましょう。正答がぐっと近くなるはずです。また、今回の問題の中でみなさんに是非とも得点してほしかった問題があります。それは問三の現代語訳です。二重尊敬「～せ給ふ(お～になる)」、完了の助動詞「たり(～た)」、副詞「いと(たいそう)」という基本事項だけで、「たいそうやつ

してお入りになった」という現代語訳が完成します。「やつす(目立たないようにする)」の意味がわからなくても、部分点は確実にもらえます。記述式の問題は、ポイントを押さえることができれば部分点がもらえることを忘れずに、自分の持てる知識をフル活用して1点でも多く得点してください。本番の入試では、その1点が合否の分かれ目になることもあります。

【漢文】全国平均(9.2/40点)が示すように、みなさんにとっても難しい問題だったと思います。しかし、「難しい」を理由に自分を納得させて終わることのないようにしましょう。まずは「解答解説」を熟読し、解法の理解に努めることです。今は解けなくても、次に同じような問題が出題されたときに自力で解けるようにしておくことが大事です。さて、漢文では思想家(学者)の著したものがよく出題されます。思想家は自分の意見の正しさを主張します。自分の意見を受け入れてもらうためには説得力が必要です。説得力を高めるためには事実や具体例といった「たとえ」が必要になります。つまり、思想家は、たとえ(比喩)を通して自分の意見の正当性を訴えているのです。ここで今回のアドバイスを。漢文を読む際には、「たとえ」が何を意味しているかを押さえましょう。授業で扱った「性善説」のなかで、孟子は人間の本性を水のたとえで説明していましたよね。今回の模試の問題では、馬と御者のたとえが賢者と才知の劣る君主の関係を意味していることを押さえられたかがポイントになります。

②数学

いつもと違い、小問集合がない模擬試験だったためか点数が下がった人が多かったですね。平日課外講習で常に話してきたことですが大問のうち(1)は教科書レベルの問題です。問題文をよく読み、何を問われているのかをきちんと把握し丁寧に取り組んでみましょう。模擬試験は受けておしまいではありません。どの問題も(1)だけでも復習しましょう。(2)もできるものはあるはずです。難しい問題に取り組み挫折する前に教科書・問題集の復習をしましょう。基礎力を上げることが先です。春休みにしっかり復習し、3年生へ向けて弾みをつけましょう。

③英語

これからの模試(3年次)に向けても含めてアドバイスします。3年次にはマーク模試も入ってきます。模試を通して自分の弱点を見つけて補強して下さい。受けっぱなしが一番駄目。解説をしっかり読むこと。では具体的アドバイスを。2年生で使用した副教材の再点検を必ず行うこと。例えばエンデバーとかFollow Upとかコーパスを繰り返しやること。さらに具体的問題対策、1のリスニング速さ・発話の音声になれましたか。次に内容会話独特の表現あります。2の会話問題をやってみることを勧めます。3文法・語法問題は考えて解くというよりは問題慣れーたくさんこの種の問題を解いてみるのが大切。make oneself 過去分詞、look up to 尊敬する visit 地名 to いらぬ。4・5文章問題(物語と説明文)物語は登場人物の動き等からプロットをつかむこと、説明文は Topic Sentence を捜して各パラグラフのつながりを理解すること。6表現力問題一分詞構文・二重否定構文・助動詞+完了形などが出題されていた平均的高校生にとっては頭を悩ますところ。それを乗り越えることが課題です。全国と比べてどうだとかは手元に届いたデータを参考として下さい。

④物理基礎

今回の出題は皆さんにとって難しめの問題もあり、得点率は全国34.2%に対して松陵生20.0%という結果になりました。難易度が標準・応用の問題は1の問4、問8、2の問2の2、問3、問4、問6、問7で配点の合計は50点満点中23点となります。従って基本問題の配点の合計は27点となります。松陵の物理選択者117名中、27点以上の得点者が2名おり立派だと思います。20点以上も6名おります。この基本問題の合計得点を上回ることが当面の問題で、それにより大学の合格が見えてきます。今回今一つできなかった皆さんもニューアチーブの問題をよくやると基礎力がつきます。健闘を期待します。

⑤化学基礎

全国平均点と比較すると、11月模試で-8.3点、1月模試(今回)で-6.7点とその差は縮まっている。今回全国平均点並みの点数になるためには、次の基本問題が解けるようになればよい。解けて欲しい問題は、1の問1、問2、2の問3、問5、問6である。まずはこれらの問題が解けるように頑張ってください。ちなみに、難問は2の問2、問4だけです。これ以外の問題も将来解けるようにもう一度解答解説の見直しを行うことを勧めます。

⑥生物基礎

前回と異なり、基本的な知識を問う問題以外に、実験操作を問う問題や、実験結果から考察する問題も出題され、やや難しめでした。こうなると、ますます基本知識の問題は落とせません。

(裏へ続く ↓)

是非、模試前に出題範囲の見直しをするようにしてください。もちろん受験後の復習も必須です。また、実験考察問題は、思考力が要求されるため難しそうに見えますが、論理的に考えることさえできれば解くことができます。そういう意味では、覚えていなければ解きようがない知識問題よりも、その場の頑張りで何とかなる可能性が残されています。試験時間中に諦めて寝てしまう前に、もうひと頑張りしてみましょう。

⑦地学基礎

岩石と地層：問1，問2(1)，問3，問8は楽勝のはずです。問2(2)は出題の意味を理解できていれば、解けたはずです。問4，問5は出題された語句の意味がしっかりわかっているならば、文章に惑わされることなく解けたはずです。問6は褶曲をしっかりイメージできていれば解けました。問7は常識問題です。しっかり復習をしましょう。問9は難題ですが、文章をよくイメージして理論的に解けば納得のいく問題です。総じて、普段の授業を大切にし、聞き漏らしが無いようにすると充分でした。

地球の形・大きさ：問1，問3，問5は落ち着いて解けば楽勝です。問2は難題に見えますが、授業通りに立式し、約分・因数分解に気がつけば、比較的簡単に解けます。くどいようですが、授業を大切にしましょう。問4は、地球の自転運動の下にその形があることを発想できれば、易解です。問6は地殻をしっかりイメージできていれば、比較的簡単に解けました。問7は一見難題に見えますが、文章をよく読み込んで、言葉の意味をよく考えて解けば納得のいく問題です。総じて、普段の授業を大切にし、聞き漏らしが無いようにする事の大切さを確認できたと思います。

惑星としての地球：問1はイメージ力が必要です。問2は楽勝です。問3は、問2がしっかり分かっているならば大丈夫です。問4は図形をよくイメージして立式すれば解けます。計算問題は、約分と因数分解を念頭に置こう！問5・問6・問7はよく考えて落ち着いて取り組めば解けます。(参考まで)

⑧化学

全国平均点と比較すると、11月模試で－10.7点、1月模試(今回)で－9.4点とその差は縮まっている。今回全国平均点並みの点数になるためには、次の基本問題が解けるようになればよい。解けて欲しい問題は、1の問1，問2，2の問3，4の問1，問2である。まずはこれらの問題が解けるように頑張ってください。ちなみに、難問は2の問2，問4，3の問2，問3，4の問5，問6です。これ以外の問題も将来解けるようにもう一度解答解説の見直しを行うことを勧めます。

⑨日本史B

「古代の政治動向」「原始から古代の外交」「鎌倉時代の社会経済」「平安から鎌倉の仏教」の出題であったが、いずれもよく入試に出てくる分野である。模試の間違いノートを作り、しっかりと復習をして欲しい。やればやっただけ伸びていくのが日本史である。模試を単なる力試しにすることなく、模試で実力をつけていって欲しい。

⑩地理B

「緑の革命」は、今回の定期考査でも出題したのだが、諸君は今回の模試の復習をしなかったのだろうか？定期考査だろうが模試だろうが、受験後の復習が最大のキーポイントなのである。今回の模試で出題された内容は、今後再び問われることがあると思って、まず間違いない！

⑪倫理

A1の大問は、全て既習事項で、教科書レベルの基本的事項であった。80%位の正解率がないと、倫理を受験科目とするには話にならないと考える。授業でも取り上げていたことばかりなので、復習をきちんとしたかが表れている。この大問だけでなく、松陵生は基本的な問題を落とすしてしまうことが多く、それが一般受験に耐える学力が身につけていない証拠である。せめて、大問A1くらいは正答率80%を目指したい。

問1.「善のアイデア」はアイデアのアイデアとも言うが、教P.30L.6と図6に出ている本文中にある用語。問2.教P.30 図6や、資P.31「アテネの学堂」に載っている。人物の解説を一度読んであげればできた問題。選択肢(イ)(ウ)が誤りであることはすぐ分からないといけませんが、(ア)(エ)どちらかが正答であるかは、上記資料の解説を知らないと解けないだろう。問3.「良きサマリア人の話」を思い出してほしい。イエスの「隣人愛」を解説する例話として、とても有名なもので、倫理を知らなくても一般教養としてご存じの方も多し話だ。汝の敵のために祈れ、という一節を知っていれば、同級生を介抱した生徒は、その実践をしたと捉えても良いだろう。心温まる話だ。

問4.キリスト教の「三元徳」とは何か。教P.43L.5 P.44L.2に出ている。問5.教P.60に、「孔子

のことば」が載っている。その4つめ、「己の欲せざる所、人にほどこすなかれ」という有名な道徳がある。この書き下し文を現代文に直したものが答えとなる。自分のして欲しくないことは他人にしてはいけない、という意味である。問6.教P.62L.12~孟子の思想の中に、他人の不幸を見過ごすことのできない心のことを「惻隠(そくいん)」の心、という。善悪を判断する心を「是非」の心という。四端(したん)....四つの徳の芽生え(めばえ)のこと。問7.教P.61の「諸子百家」の中に、墨子の「兼愛」のことが記されている。問8.ブッダは、存在を固定した実体とは考えなかった。全ては、「縁あって起こる」といい、「因縁生起(いんねんしょうき)」というように、存在と相互依存的、相互関係的なものとして捉えた。

問9.(ウ)を正解。「悲」を悲しい、という意味に捉えると間違える。悲は仏教語で、他者の苦しみに寄り添って他者をなぐさめること(抜苦)をいう。このような仏教の意味を持っている漢字には注意すること。教科書に載っていることを良く理解することが基本である。

大問A2は、教科書P.130~161の日本の伝統思想と東洋思想の受容を範囲とした出題である。授業では時間の関係から学習できなかった分野である。この分野の問題も、教科書に載っている基本事項ばかりである。授業では触れることができなかった分野であるが、読みとおすことは容易である。倫理を受験に必要とする人は、ぜひ熟読してほしい。その上で、演習ノートをやると知識が身に着くだろう。大問A3は、ルネサンス、宗教改革、モラリスト、ベーコンとデカルトに関する出題である。

教科書レベルの基本的な問題が多いが、一部、やや応用的な問題も混ざっていた。大問A3も、正答率が75%位に持っていきたい。既習の分野なので、A3が半分もできないようだったら、倫理を受験に用いるのはさっさと諦めて、文系は日本史で、理系は地理Bで受験することを決断すべきだ。

大問A4は、現代社会と人間を一連のテーマとした倫理について問うた総合問題である。教P.185~の内容をベースにした出題である。一部に既習の内容も散見する。例えば、問3のエリックソンについては、青年期の項目で学んだ。問9の思想家、心理学者、教育社会学者の名前も青年期の所で学んだが、正確な知識があるか問われている。①の「心理的離乳」という用語は、米国のホリングワースの使った用語で、ルソーとは無関係。②のレヴィン(ゲシュタルト心理学)の不安定な心を持つ青年を示す用語「周辺人(中間人)」は正答。③のリースマンは、最近の教科書には出てこなくなったが、現代社会の教科書には載っていることがある人名。米国の社会学者で、「孤独な群衆」という著書がある。現代の大衆社会では、「他人指向型」の人が最も多い、と論じた。資P.232右下に小さく載っている。大問A4は、未習の分野であるが、教科書P.180~220を熟読し理解すれば、さほど難しいことではない。しかし、3年生で倫理を選択していなかったり、独習する人にとっては、思想家の数も多く論理も難解で、学習は困難極まることだろう。せめて、学習の手がかりとして、次の本を勧めしておく。

清水書院「パスポート倫理問題集(918円)」 山川出版社「倫理用語集」(823円)

※今回は、ページ数の関係で詳細な成績相関表を掲載しませんが、結果を言えば**41名の生徒が前回模試よりも成績が大きく向上**しました。また、前回とほぼ同様の成績、つまり現状維持だった者は、141名。そして明らかに低下した者は、86名ということになります。

※先ずは、毎回安定的に偏差値40のラインよりも上になるよう頑張ってみましょう。
→ 前は92名、今回は57名が40以上でした。また、**前回・今回共に40以上の生徒は、40名**になります。

〈連絡事項〉〔①は再掲載〕

①『スタディーサポート活用BOOK』の提出について
いつもどおり、自己採点をして提出すること！提出しない場合には、後で学年主任からの呼び出しがあります。**3月23日(水)放課後**、スタディーサポート終了後に各クラスで週番が回収し、担任まで提出。

②スタディーサポート実施要項

【実施日程】平成28年3月23日(水)

8:50~10:00	国語
10:10~11:30	英語
11:30~12:10	カード記入・学習リサーチ
12:10~12:55	昼休み
12:55~13:55	数学

【注意事項】

- ・**学年ごとに開始時刻及び終了時刻が異なる**ので、休み時間は静かに過ごすこと。
- ・科目ごとに選択問題があるので、**監督の先生の指示に従うこと。**

